



ここにくれげ



えろね

2019.12.8

川口ぞうHP <http://kawaguchizou.sakura.ne.jp>
メール kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp
TEL 048-268-9256(荒木) 261-1714(栗山) 266-1242(柴山)



35年にわたりアフガニスタンの復興に身を捧げてきた医師の中村哲さんが、4日、銃撃され搬送中に亡くなりました。復興は「軍事ではなく農業から」と25キロもの灌漑用水を建設し、1万6500ヘクタールもの干ばつの地を潤しました。この日も灌漑工事の現場に向かう途中、凶行に遭ったとのことでした。

今日12月8日は、1941年日本が真珠湾を攻撃、太平洋戦争へと突入した日です。また、国境なき世界平和を夢見たジョン・レノンが、ニューヨークのダコタ・ハウス前で凶弾に倒れた日でもあります。「みんなが本当に平和を望めば、世界は平和になるんだ」彼の、まっすぐなメッセージをいま抱きしめたい。

東京新聞の埼玉中央版に載りました！

前回の練習を取材に来てくださった東京新聞の近藤記者が、早速11月27日の紙面に素敵な記事を載せてくださいました。ご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、団員の募集にも一役買う内容になっていますので、コピーが必要な方はお持ちください。お誘いチラシとセットで、気軽にお友だちに声をかけてみてくださいね。

練習の成果を高めるために

練習は原則として月に2回10時から11時45分頃まで、体操や休憩の時間を除くと、正味1時間半です。6月からは毎週の練習となりますが、それでもリハーサルまでの練習日を数えるとあと16回、全11曲の組曲を仕上げるには、十分すぎるとは言えませんね。その中で最大の成果をあげるためには、①体調管理をしっかりして、休まず元気に参加②5分前に集合して密度の濃い練習を③練習中の注意事項を楽譜にメモ④家に帰ったらもう一度おさらいを の4つをこころがけてみましょう。上達の度合いが、グンとアップするはずですよ。

名札つけてますか？

毎回、名札をつけてくださいとお願いしています。セキュリティ対策だけでなく、お互いに早く名前を覚えて、仲良くなるためにも役立ちます。まのじさんのかわいい手作り名札も鋭意制作中ですので、よかったら手に取ってみてくださいね。

由布院小に行ってきました♪

前回のこあでも触れましたが、12月3日に大分県由布院小学校で行なわれた『ぞうれっしゃ集会』に行ってきました。前回、20年の取組みと書きましたが、前日に教頭先生をお訪ねして実際にお話をうかがってみると、なんと30年間も続けられている平和集会とのことでした！川口ぞうも30周年ですが、由布院小は毎年欠かさず30年、本当にすごいことですね。

実際に目の当たりにした『ぞうれっしゃ集会』は、期待をずっと上回る素晴らしいものでした。30年間歌い続けていることもさることながら、子どもたちのあいさつや歌声、態度の一つ一つに、平和教育としてのこの集会の魂のようなものがしっかりと根付いていることが感じられ、深く感銘を受けました。私たちも、大人のパートを歌わせていただきながら、思わず目がうるうるしてしまいました。

その後、駅前や観光センターで、集会に参加した保護者の方から声をかけていただき、また感激！

思い切って、へそくりをはたいて訪問した甲斐がありました。お酒もお菓子も我慢して～♪へそくりが貯まったら、ぜひもう一度訪ねてみたいと思っています。詳しいご報告は、裏面をご覧くださいね♪

次回は12月22日、今年最後の練習ですよ～ ここにくれげあえるね♪

由布院小学校「ぞうれっしゃ集会」の歩み（小野大介教頭先生のお話）

- 1986年 大分県教職員組合日田支部が1985年に立ち上げた文化活動部会の取組みとして、愛知で歌われていた『ぞうれっしゃがやってきた』を市内3校合同で歌う。（小野先生は新任2年目）
- 1988年 小野先生が由布院小学校に異動。文化祭の取組みとして、担任していた4年生の4クラスで『ぞうれっしゃ』を発表した。『8・6平和集会』担当の先生から「とても素晴らしい。ぜひ全校で取組みたい。」との意見があり、翌1989年から『8・6平和集会』にて、全校の取組みとなった。教職員、保護者、地元のコーラス集団も加わり、大人パートを担当。（8月6日は、今も大分県内の全小中学校の登校日となっていて、8時15分に黙祷を捧げているそうです。）
- 1993年 小野先生は他校に異動となるが、その後、平和集会が2月10日になっても、全校でぞうを歌う取組みは続き、いつしか『ぞうれっしゃ集会』となる。
- 2000年 『ぞうれっしゃ集会』は12月の期末 PTA 行事となり、現在にいたる。

当日の流れ

あいさつ 6年生代表 10名がリレー式に

「今年もぞうれっしゃ集会の季節がやってきました」から始まった児童あいさつは、ぞうれっしゃについて簡単な説明をした後、「由布院小学校では、平和な世界を願って、この音楽物語を30年前から歌い続けています」「今年もそれぞれの学年が、歌に込められた思いを考えながら練習を進めてきました」「10番と11番は平和を願う気持ちを一つにして全員で歌います」「最後まで平和について考えながらお聞きください」「私たちは、一生懸命歌います。おうちの人も一生懸命聴いてください」と結ばれます。

1. サーカスのうた 1年生

元気いっぱいのかわいい歌声に早くも涙腺が… 高音部はムリせず、綺麗なファルセットに。

2. ぞうを売らないで 大人たち

3. 雪よふるな 5年生

大人も苦勞する難しい曲をととても綺麗に心を込めて歌ってくれました。指揮も伴奏も児童でした。

4. 動物園へようこそ 2年生

元気な歌声。「アドン！エルド！マカニー！キーコ！」のところが特に元気になるのは、みんな同じね。

5. 動物を殺せ 大人たち

軍人役の優しい先生は、練習で何度もダメ出しされたとか。本番では迫力満点でした。

6. 悲しみの日 大人たち

7. いくさの終わる日まで 6年生

さすがは最上級生！高音部も後半の二部合唱も美しくまとまった歌声でした。指揮、伴奏は児童。

8. 本物のぞうが見たい 3年生

急にしっかりする中学年。子ども議会の台詞もソロパートもよく練習していて、とても上手でした。

9. ぞうをかしてください 4年生

台詞は元気に、前半のお願いはかわいく、後半の園長のパートは穏やかに優しく歌ってくれました。

10. ぞうれっしゃよはしれ 全員

11. 平和とぞうと子どもたち 全員

見に来られた保護者の中には、自分自身も6年間ぞうれっしゃを歌い卒業したという人も大勢いらして、30年という活動の重みを感じました。人よし、お湯よし、景色よし、忘れられない由布院盆地でした。